狂言『柿山伏』

お話の内容

狂言とは

・せりふやしぐさを主とした劇

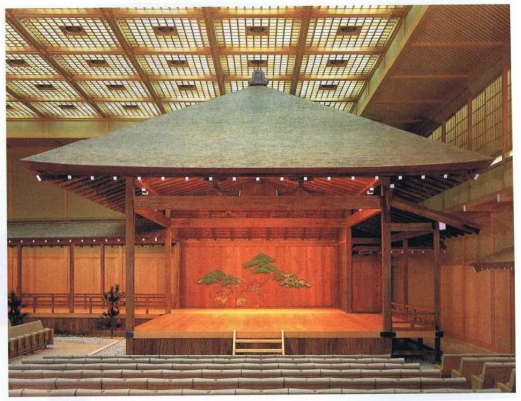
・能舞台で演じられる。

・主役「シテ」　相手役「アド」

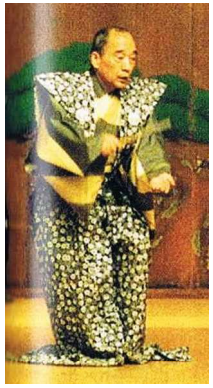
・せりふは昔のことば（独特の調子）

・観客に自分のしようかいをしたり、物音を言葉で表すというような工夫もされている。

大名や家臣、山伏、農民、神、かみなり、おになどが登場し、それぞれが引き起こす失敗やまちがいが楽しく愉快にえんじられている。



【能舞台】



狂言『柿山伏』

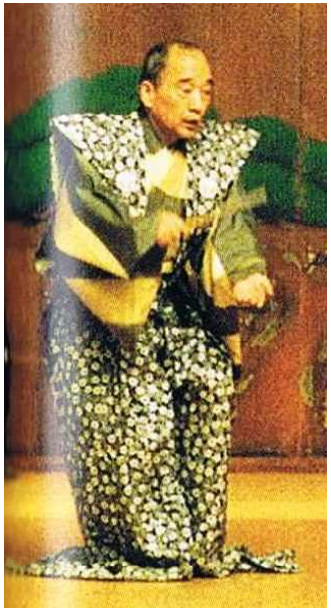
お話の内容

『柿山伏』

・登場人物

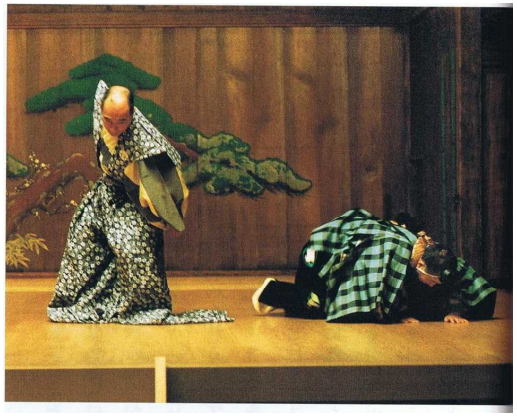
主役「シテ」　山伏

相手役「アド」　柿主



山伏　…こんごうづえやほら貝など持って、山中で修行する者。

柿主　…柿の木の主人

・あらすじ

空腹のあまり、他人（柿主）の柿の木に登って、勝手に柿を食べてしまった山伏が、その持ち主（柿主）にこらしめられるお話。